

# つばさ

地域の皆さまに信頼される病院として  
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構  
神戸中央病院  
〒651-1145  
神戸市北区惣山町2丁目1-1  
TEL 078-594-2211  
FAX 078-594-2244  
<http://kobe.jcho.go.jp/>



## 脳神経内科

脳神経内科で対象としている疾患は、脳卒中や髄膜炎・てんかんなど急激に発症する急性疾患と、パーキンソン病や脊髄小脳変性症など数ヶ月から数年かけてゆっくりと進行する慢性疾患があります。前者は早期の治療が必要で救急疾患に該当する疾患が多く、後者は主に外来で診断と治療をじっくりと行う疾患が多いです。

脳神経疾患の診療は急性疾患と慢性疾患で異なります。迅速な対応が求められる急性疾患では迅速な問診と診察および並行して画像検査など機器による検査を行います。一方、慢性疾患の診断は詳細な問診と独特の神経診察から始まります。問診や神経診察は数十分かけて、場合によっては日をかえて行います。そのため外来では一人一人の診察時間がかかります。こうして病気の場所と診断のあたりをつけて、MRIや核医学検査などの放射線学的検査、脳波や筋電図などの電気生理学的検査、頸動脈エコーなどの超音波検査などの検査を選択して確定診断に至ります。

一般的に脳神経疾患は治らない疾患というイメージがあり、事実、まだまだ特に神経難病の治療は不十分です。ただ、近年は脳神経疾患領域においても患者さんの日常生活の向上に役立つ治療薬が出てきており、治療の幅もここ数年で広がっているのも事実です。

当院では2022年4月より常勤医2名が赴任しました。さらに非常勤医1名が外来を担当しています。診療科としては小規模で、まだ立ち上げの段階ですが、地域の患者さんおよび医療機関のニーズにできる限り応えられるような脳神経内科診療を提供していきたいと考えております。

今後ともよろしくお願いたします。

文責：脳神経内科 部長 吉田 誠克

### 新任 医師



わかばやし れいな  
歯科口腔外科 若林 玲奈

5月より歯科口腔外科にて勤務させて頂きます。地域の皆様に貢献できるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

### 退任医師のお知らせ

歯科口腔外科：中野 妃加里



## 近隣医療機関のご紹介

# まつだクリニック

〒651-1113 神戸市北区鈴蘭台南町5-2-22

TEL 078-594-7005

FAX 078-594-7006

診療科目：脳神経外科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	×
16:00~19:00	●	●	●	×	●	×	×



松田 和也 院長



JCHO神戸中央病院(旧社会保険神戸中央病院から)に約10年お世話になり平成29年に北区鈴蘭台南町に開業させていただきました。開業後はJCHO神戸中央病院の先生方をはじめスタッフの皆様本当ににお世話になることが多く迅速な対応に日々感謝しJCHO神戸中央病院があって北区の医療が成り立っていると思っています。しかし、そう思うと私自身も勤務医の時には地域医療にかなり貢献していたのではと自負する思いが抑えきれず思わずここに書いてしまいました。開業したものの、勤務医の頃のような地域貢献にはまだまだ及びませんが今後も努力を重ね、北区全域とはいかないまでも当院のある北区鈴蘭台南町5丁目周辺にはしっかり貢献できるように引き続き努力していきます。今後とも宜しくお願いいたします。

## 選定療養費改定のお知らせ

一般病床 200 床以上の地域医療支援病院を、紹介状なしで受診する場合に診療費とは別に初診・再診時の選定療養費の徴収が義務づけられています。

2022 年度診療報酬改定により、**2022 年(令和 4 年)10 月 1 日から次のとおり選定療養費を変更いたします。**ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

詳しくは、備え付けのリーフレットまたは初診受付スタッフまでおたずねください。

### 初診時選定療養費

- 紹介状を持参せず、当院を初診で受診された場合
- 他科を初診で受診された場合

医科 改定前 5,500 円  
改定後⇒ **7,700円(税込)**

歯科 改定前 3,300 円  
改定後⇒ **5,500円(税込)**

### 再診時選定療養費

- 当院から他医療機関へ紹介した後に、その医療機関の紹介状を持参せず、当院に受診された場合
- 当院の医師が診療所等に紹介を行う旨、申出た後も当院の診療を希望し受診された場合

医科 改定前 2,750 円  
改定後⇒ **3,300円(税込)**

歯科 改定前 3,300 円  
改定後⇒ **2,090円(税込)**

#### ※ 初診時選定療養費および再診時選定療養費を徴収しない方

- ・自施設の他の診療科から院内紹介されて受診する方
- ・特定健康診査、がん検診等の結果により精密検査受診の指示を受けた方
- ・救急医療事業、周産期事業等における休日夜間受診される方
- ・**\* 救急受診であっても医師が緊急性を要しないと判断した場合は徴収対象となります。**
- ・労働災害、公務災害、交通事故で受診される方
- ・公費負担医療制度の受給者（こども医療、ひとり親医療の受給者は徴収対象）等

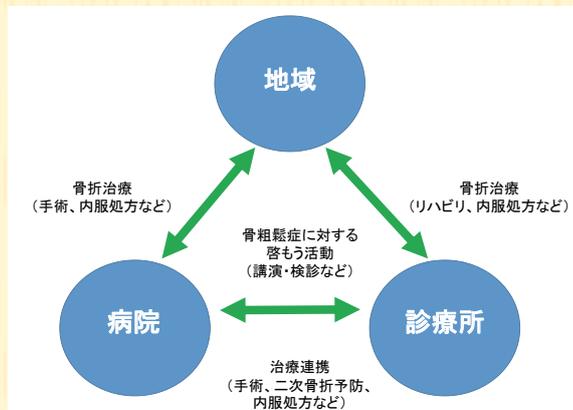
# 骨粗鬆症リエゾンサービスについて

整形外科 部長 岡山 明洸



2022年4月より診療報酬改定で、大腿骨近位部骨折（大腿骨転子部骨折、大腿骨頸部骨折）に対する緊急整復固定加算、緊急挿入加算が新たに加わりました。これは受傷した患者さんが75才以上、受傷48時間以内の手術に関して従来の手術に追加して加算されるものです。この条件として、前年度に該当手術を60症例以上施行していること、5年以上の経験を有する常勤整形外科医2名、麻酔科標榜医、常勤内科医の配置、緊急手術が可能な体制などの施設基準が提示されています。当院ではこれらの条件を満たしております。

施設基準の中に多職種連携を目的とした大腿骨近位部骨折に対する院内ガイドライン、マニュアルも作成しこれを運用しております。



併せて診療報酬改定では二次性骨折予防継続管理料算定についても新たに追加され、大腿骨近位部骨折患者さんに対し継続的に骨粗鬆症の評価を行い必要な治療を実施した場合の管理料です。当院においても従来より地域連携として近隣の医療施設と情報共有を行っていましたが、昨年度より当院においても多職種の医療スタッフでチームを作ることを目的とした、核となる役割を担うメディカルスタッフを「骨粗鬆症マネージャー」という資格で、日本骨粗鬆症学会が2015年より認定制度を開始しており、当院でも2021年より骨粗鬆症マネージャーの有資格者が3名に

なっております。今後は骨粗鬆症マネージャーを中心に、骨粗鬆症治療を継続できるかかりつけ医や医療機関との連携や、患者さんへの骨密度検査や治療開始の働きかけを行う「骨粗鬆症リエゾンサービス」を行うべく当院において「骨粗鬆症リエゾンサービス委員会」が発足しました。この動きは全国的に拡大しておりますが、先に記しました二次性骨折予防だけでなく、各施設がそれぞれフリーハンドで作成した市民講座や行政サービスとの連携などいろいろなモデルがあります。当院でも神戸市北区の実情に合わせた適切なサービスを、コロナ禍が明けたら開始できるよう準備して参ります。

大腿骨近位部骨折患者さんを退院後追跡した報告では1年後に骨粗鬆症治療が継続されているのは15～30%とされています。神戸市北区でも同様であると予想しますので、このような状態を打破できるよう取り組みを開始いたします。



# メデイカル ライン

《医療機関向け》

婦人科 部長 辰巳 弘



## 2022年4月から HPV ワクチン接種の積極的推奨が再開されました

### HPV ワクチン接種の積極的推奨に関する政策の推移(積極的勧奨再開に至った経緯)

日本で若年者の子宮頸がん罹患数が増加しています。子宮頸がん発症の原因はhigh risk HPVの持続感染であり、ワクチンによる予防が極めて有効です。HPVワクチン接種に対し2010年度から公費助成が開始され、2013年4月からは小学校6年生～高等学校1年生相当の女子を対象とした定期接種が無料で受けられるようになりましたが、接種後の様々な症状が報告されたため、厚生労働省は同年6月から接種の積極的勧奨を一時差し控えました。その後、8年半の間、積極的勧奨の差し控えは続いていましたが、被接種者における副反応を疑う症状発現の割合は0.5%未満であり、毎年概ね横ばいであったことが報告されました。この報告を踏まえ、HPVワクチンの安全性および有効性に関する評価やHPVワクチン接種後に生じた症状への対応、さらにHPVワクチンに関する情報提供の取り組み等について審議が重ねられた結果、2021年11月26日、厚生労働省は積極的勧奨の差し控えを終了し、2022年4月より積極的勧奨を再開することを決定しました。また、積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対して、キャッチアップ接種を開始することも決定しました。

### HPVワクチンのキャッチアップ接種について

キャッチアップ接種とは、HPVワクチン接種の積極的勧奨の差し控えにより定期接種の機会を逃した女性に対し、公平な接種機会を確保する観点から、時限的に、従来の定期接種の対象年齢を超えておこなう接種のことです。

対象者は、1997年(平成9年)4月2日から2006年(平成18年)4月1日までに生まれた女子であり、実施期間は2022年(令和4年)4月1日から2025年(令和7年)3月31日までの3年間です。また、HPVワクチンの接種機会の確保の観点から、キャッチアップ接種の期間中に定期接種の対象から新たに外れる世代、すなわち2006年(平成18年)4月2日から2007年(平成19年)4月1日までに生まれた女子および2007年(平成19年)4月2日から2008年(平成20年)4月1日までに生まれた女子についても、順次キャッチアップ接種の対象となります。実施期間は、2022年(令和4年)4月1日から2025年(令和7年)3月31日までの3年間のうち、定期接種での対応可能期間を除いた期間のみ該当します。

当院は地域の産婦人科、小児科の先生方とともに、今後も子宮頸がん予防に取り組んで参りますので、よろしくごお願い申し上げます。

### 当院関連の北区医師会共催セミナー

(詳細は医師会報をご覧ください)

日時	講演内容	講師
7月14日 19時00分～	第3回北神戸医療連携セミナー 循環器内科	神戸中央病院 循環器内科 医師
7月21日 19時00分～	Mt.Rokko 脳神経カンファレンス	甲南加古川病院 脳神経内科 部長 北村 重和 先生
7月28日 19時00分～	SARS-CoV-2に対する感染対策	神戸市立医療センター 中央市民病院 感染症科 感染対策室 土井 朝子 先生